

狭山事件 石川さん夫妻の映画

埼玉県狭山市で一九六三年に女子高生が殺害された「狭山事件」で服役し、出所後も冤罪を訴え続けている石川一雄さん(セム)と妻の早智子さん(ハモ)の日常生活を追ったドキュメンタリー映画が三十一日から、東京都内で上映される。金聖雄監督(金)は「夫婦が苦難を引き受け、真っすぐ生きている姿を見てほしい」と話す。(荒井六貴)

冤罪訴える日常 追う



金聖雄監督

タイトルは「SAYAM A みえない手錠をはずすまで」。二〇一〇年からの三年間にわたり、石川さん夫妻に密着。食卓で交わす何げない会話や、「殺人犯」というレッテルに苦悩する様子が描かれている。昨年秋に完成し、これまで支援者らに向けた自主上映会を約二百回開催。今回、

金監督「真っすぐな姿見て」

初めて一般向けの映画館で上映されることになった。狭山事件で、石川さんは別件容疑で逮捕され、裁判で無期懲役が確定。約三十二年間服役し、九四年に仮出獄した。九六年、早智子さんと結婚し、今は第三次の再審請求中だ。



石川一雄さん(右)と妻の早智子さんの日常を追った映画のワンシーン

問題だけではなく、厳しい環境の中でも、笑い、泣き、生きていく姿を見てもらいたい。人とのつながりや支え合つことの大切さを考えるきっかけにもなれば」と期待する。

今年三月に再審開始決定が出て、釈放された袴田巖さん(セム)のことが、映画館での上映を後押ししたという。

金監督は「警察が証拠の捏造をした疑いがあるというのは、狭山事件でも共通している。石川さんの生き方を見てもらえば、石川さんが無実であることが伝わるはず」と話す。

上映は東京都中野区の「ポレポレ東中野」で。毎日一回、午後十二時十分から。初日の三十一日は、石川さん夫妻が舞台あいさつに立つ。六月中旬までの公開予定。問い合わせは、ポレポレ東中野 電話03(3371)0088へ。